

令和3年度
行政評価 結果報告書



令和4年1月

倉敷市企画財政局企画財政部企画経営室

1 実施概要

令和3年度の行政評価は、平成23年度から令和2年度までの10年間を計画期間とする「倉敷市第六次総合計画」に掲げる46の施策を対象に行いました。

各施策の進捗状況及び施策を推進する主な事業の今後の取組方針を明確化することにより、施策の重点化やその推進手段である事業の見直しにつなげ、第七次総合計画の計画的かつ効果的な推進を図ること、また、市民の皆さまに対する行政の説明責任を果たしていくことを目的に実施しました。

2 評価結果

(1) 各施策の評価

第六次総合計画に掲げられた全46の施策について、評価を行いました。実施内容は以下のとおりです。

- ・「まちづくり指標」の実績値の把握
- ・施策を推進する主な事業の評価（目的、主な実績、今後の方向性）

※各施策の評価結果については、別添「施策評価シート」を御覧ください。

(2) 「まちづくり指標」の達成度総括評価

第六次総合計画では、重要なまちづくりの課題を「めざすまちの姿」と表現し、その達成状況を測る“ものさし”として、「まちづくり指標」を設け、平成27年度と令和2年度における目標値（めざそう値）を設定し、まちづくりを進めてきました。

今年度の施策評価は、第六次総合計画期間における取組を振り返り、その成果や課題を第七次総合計画へと繋げていくためのものです。

最終年度（令和2年度）における「まちづくり指標」の全体の動向（H21基準値からの傾向）は、158指標のうち92指標（約60%）が改善されましたが、平成30年7月豪雨災害や新型コロナウイルス感染症のまん延といった外的要因に大きく影響を受け、令和2年度目標値（めざそう値）の達成は、1-③「子どもの学校での教育がしっかりできている」と感じている人の割合、3-③一般廃棄物の年間排出量（家庭系）、4-⑦一般企業の障がい者雇用率などの13指標となりました。

特に、悪化した63指標のうち、平成30年の7月豪雨災害、令和2年の新型コロナウイルス感染症の影響により、市外からの観光客、文化施設など公共施設利用者、地域産業に関する指標、特別定額給付金の支給により歳入総額に占める自主財源比率などについては、悪化となっております。

しかし、こうした外的要因の影響を除いた場合には、悪化した63指標のうち、14指標が改善になっていたものと考えられます。

「まちづくり指標」については、「まちづくり指標」アンケート調査や、市での集計、各種統計等により、実績値を把握しました。

 **改善：92指標（59.0%） 悪化：63指標（40.4%） 維持：1指標（0.6%）**

※「まちづくり指標」アンケート調査の詳細については、別添「令和3年度倉敷市第六次総合計画『まちづくり指標』アンケート調査結果報告書」を御覧ください。

※各指標の動向については、別添「倉敷市第六次総合計画『まちづくり指標』動向一覧表」を御覧ください。